

取組事例 恐竜化石を活かしたまちづくりによる交流人口の拡大 (むかわ町)

むかわ町では、町民と行政による協働推進体制のもと、恐竜化石をはじめとする地元産の化石を活用したまちづくりを推進し、まちの魅力の向上を図り、交流人口の拡大に繋げる取組を進めている。

関連数値目標・KPI

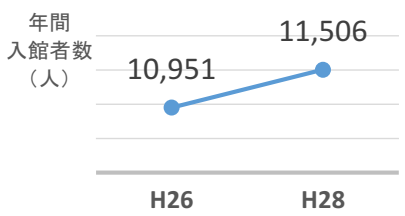
	基準値 (H26)	実績 (H28)	目標値 (H31)	進捗率 (%)
恐竜ボランティア数(人)	0	16	20	80.0%
観光入込客数(人)	146,742	157,245	190,000	82.8%

取組の推進体制

住民による推進組織「恐竜ワールドセンター」の設立と町の恐竜ワールド戦略室の設置により、町民と行政による協働推進体制を構築している。

ハドロサウルス科全身骨格「むかわ竜」の特徴

- ・国内最大の恐竜全身骨格化石 (全長 8m以上)
- ・白亜紀後期の恐竜全身骨格、植物食の恐竜全身骨格、海の地層から発見された恐竜全身骨格として、いずれも日本初
- ・海の地層から発見されたハドロサウルス科全身骨格としては、世界で3例目



穂別博物館入館者数も増加傾向

取組事例 まちの魅力向上と交流人口の拡大

恐竜ワールド構想の推進

○主な取組 ・恐竜ワールド構想推進計画の策定

まちづくりの方向性

- 第1段階**
博物館や発掘現場等の核となる施設やエリアの魅力向上
- 第2段階**
核となる資源を活かした付加価値の向上(産業創出、観光商品/グルメ開発等)
- 第3段階**
恐竜以外の地域資源を活用し、町全域をステージとした魅力向上

むかわ町全域をステージとした展開の推進

2018年度～2020年度

「むかわ町恐竜ワールド構想」は、「むかわ町産地産物振興事業」の中心事業であり、町の活性化を図るために、町民と行政、事業者が連携して推進している。また、町の魅力を向上させ、交流人口の拡大を図ることを目指している。

まちづくりの方向性

町民と行政、事業者が連携して推進している。また、町の魅力を向上させ、交流人口の拡大を図ることを目指している。

第1段階 博物館や発掘現場等の核となる施設やエリアの魅力向上

第2段階 核となる資源を活かした付加価値の向上(産業創出、観光商品/グルメ開発等)

第3段階 恐竜以外の地域資源を活用し、町全域をステージとした魅力向上

まちづくりの全体像 4つの柱と5つのマーケティング戦略

「むかわ町産地産物振興事業」の中心事業であり、町の活性化を図るために、町民と行政、事業者が連携して推進している。また、町の魅力を向上させ、交流人口の拡大を図ることを目指している。

資源活用による交流人口の拡大、産業の創出

- 主な取組
- ・発掘体験ツアー (10回) の実施
 - ・博物館バックヤードツアーの実施
 - ・普及講演会の開催
 - ・恐竜デー (化石レプリカづくり) の実施
 - ・恐竜化石を発掘している道外の自治体 (熊本県御船町、兵庫県丹波市、同県篠山市) と覚書を交わし、自治体連携ネットワークを構築
 - ・レプリカ等の製作を手がける道外企業の町内進出 (H29. 7月) を機に産官学の連携を通じ、地域にノウハウを還元し、産業創出を図る。

○主な成果

- ・普及講演会、化石採集会参加者数が、151人 (H26) から310人 (H28) に倍増